令和5(2023)年度

事業報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和 5(2023)年度 事業報告書

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3(2021)年度を初年度とする5か年の中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保 の3つの分野における事業を実施した。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の「5類」以降後、急増した外国人市民との共生社会の実現に向けた取組みを引き続き推進した。

具体的には、「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」において、外国人市 民への多言語による生活全般の情報提供・相談を行い、併せて外国人市民に役立つ情報をホー ムページ等で発信した。併せて「生活支援」の一つとして外国人市民への防災対策に取り組んだ。

また、外国人市民の言葉の壁を取り除くために、外国人市民への日本語教育を充実させ、同時 に日本人等への「やさしい日本語」の普及に取り組んでいった。

さらに、高城外国人材活躍支援資金等(寄附金)を活用し、留学生の地元就職支援や外国人 受入企業の支援などを行った。

≪事業内容≫

| 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

- (1)外国人市民への相談対応
 - ア 北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの相談
 - 〇協会(八幡西区コムシティ3階)及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語はタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大23言語の相談に対応した。
 - ○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に 関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」が関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローを行った。
 - 〇「生活者」、「子ども」、「就労者」を対象とした日本語教育に関する相談は、日本語コーディネーターが外国語相談員と連携して対応した。

対応日時:月曜~金曜日 9:30~16:00

相談者数 838 人 相談件数 960 件

- ○相談通訳コーディネーターが通訳者の育成·派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄 り添った支援を行った。
 - ※コミュニティ通訳業務(市の委託事業)

対応件数: 159件(内派遣件数 38件)

言語別: 英語 93 件、中国語 41 件、ベトナム語 17 件、タイ語 4 件、ネパール語 1 件、その他 3 件

内容別:区役所(行政手続)関係 90 件、子育て支援(子ども関係)34 件、子育て支援 (母親関係)10 件、保健所業務 1 件、その他 24 件

※医療通訳派遣(協会の法人賛助会員は無料)

派遣件数:11件

言語別:英語3件、中国語5件、ベトナム語3件

診療科別:内科7件、呼吸器内科1件、循環器科1件、整形外科1件、産婦人科(産

科)2件、眼科2件(複数科受診を含む)

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施した。

〇行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」 1回/月 相談件数:54件

〇弁護士による「法律相談」 1回/月 相談件数:16件

〇臨床心理士による「心理カウンセリング」 随時 相談件数: 0件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

① 第1回

開催日:9月29日

場 所:八幡西生涯学習総合センター大会議室

参加者数:33人

出席機関:福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、福岡出入国 在留管理局、北九州市(国際政策課、地域福祉推進課、区保健福祉課等)

② 第2回

開催日:2月1日

場 所:八幡西生涯学習総合センター大会議室

参加者数:32人

出席機関:福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、福岡出入国 在留管理局、北九州市(国際政策課、地域福祉推進課、区保健福祉課等)

エ ウクライナ避難民相談窓口による相談・支援

令和 4(2022)年 3 月に設置したウクライナ避難民相談窓口を令和 5 年度も継続し、北九州市への避難民に対し、行政機関や支援機関と連携しながら相談対応や情報提供など必要な支援を行った。令和 5 年度末現在は 3 名が市内に在住している。

(2)多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報(事業、イベント、防災情報等)

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したホームページから、 フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて迅速・効果的な情報発信を行った。

※ホームページアクセス件数

日本語 129,794 件、英語 9,532 件、中国語 2,430 件、韓国語 2,032 件

ベトナム語 2,264 件、やさしい日本語 1,676 件 合計 147,728 件 Facebook フォロワー数:1,522 人 Instagram フォロワー数:572 人

イ「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」運用研修(市の委託事業)

市との協定に基づき大規模災害発生時に開設する「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル(令和 4 年度作成)」を基に訓練を行った。訓練で気づいた内容も整理して、振り返り学習会を開催し、マニュアル改訂に着手した。

日 時:令和6年2月8日 13:30~15:00

場 所:北九州国際交流協会内

講師:公益財団法人佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢冨 明徳氏参加者:北九州国際交流協会職員、北九州市職員、下関市職員 計21人

(3)日本語教育の推進とICT 活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人や外国人児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は、ICT を活用しオンライン形式で教室を開催した。

(ア)外国人生活者支援

○「ひらがなカタカナ」(オンライン)

開催期間: 5月18日~11月16日 1期10回、年間2期実施

(毎週木曜日 10:00~11:30)

開催回数:20回 登録学習者数:7人(実数)

学習者の国籍:インドネシア、フィリピン、ナイジェリア、ケニア、ベトナム、マレーシア

O「にほんご1」(オンライン)

開催期間: 5月19日~3月15日 1期10回、年間3期実施

(毎週金曜日 10:00~11:30)

開催回数: 30回 登録学習者数:20人(実数)

学習者の国籍: インドネシア、フィリピン、スリランカ、ベトナム、ナイジェリア、ケニア、中国、

ポルトガル、マレーシア、メキシコ、香港、スイス

○「にほんご2」(オンライン)

開催期間: 5月16日~3月12日 1期10回、年間3期実施

(毎週火曜日 10:00~11:30)

開催回数: 30回 登録学習者数:16人(実数)

学習者の国籍: フィリピン、ベトナム、中国、マレーシア、ナイジェリア、インドネシア、パキスタン、モンゴル

○「にほんご3」(オンライン)

開催期間:5月27日~3月9日

開催回数: 20回 登録学習者数:17人(実数)

学習者の国籍:中国、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、ナイジェリア、アメリカ、オーストラリア、韓国、イギリス

(イ)外国人子ども支援(児童生徒を対象にした日本語教室)

 \bigcirc [[[(1) [(1)] (1)] (1) [(1

開催期間:4月15日~3月16日(毎週土曜日 10:30~11:30)

開催回数:34回

学習者数:20人(実数) ボランティア数:25人(実数)

学習者の国籍:日本、中国、ベトナム、香港、フィリピン、イラン、パキスタン、マレーシア

○「夏休みしゅくだいひろば」(対面)

開催時期:8月22日(火)~23日(水)午前10:00~11:30

開催場所:小倉中央市民センター

学習者数:12人(実数) ボランティア数:15人(実数)

学習者の国籍:中国、ベトナム

(ウ) 直営日本語教室パートナーのための研修(オンライン)

開催期間:4月26日~1月31日 計14回

参加者数:17人(実数)

(エ)日本語交流マッチングパートナー制度の試行(オンライン)

開催時期:8月

実施回数:3組(学習支援者と日本語学習者のペア)×80分×3回

参加者:学習支援者3人、日本語学習者4人

- イ 地域日本語教室との連携
 - (ア)地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している 15 の教室・団体の課題や問題点の把握に努めるとともに必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

- 〇地域の日本語教室 11 教室に対して運営資金の一部を助成(59 万円)
- ○教室の活動状況アンケート(隔月)、日本語コーディネーターによる教室訪問(随時)
- ○ボランティア向け研修会の開催
 - ①テーマ: 知っておきたい 外国人の在留資格の基礎知識

開催日:6月17日(土) 13:30~15:30

場 所:八幡西区生涯学習総合センター「204会議室」

参加者数:21人

講師:福岡出入国在留管理局北九州出張所坂爪佳奈氏、椿淳也氏

福岡県行政書士会 持主智子氏、長尾恵美子氏

②テーマ: 異文化コミュニケーション

開催日:9月9日(土) 14:00~16:00

場 所:ウェルとばた8階

参加者数:24人

講師: JICA 中国市民参加協力課 新川美佐絵氏

③テーマ: おしゃべりでつくる「ときめく」日本語学習~初級日本語教科書をアレンジしよ

う!~

開催日:12月2日(土) 14:00~16:00

場 所:オンライン 参加者数:25 人

講師: 早稲田大学日本語教育研究センター非常勤インストラクター 田中美穂子氏

○地域日本語教室との意見交換会

(第1回)

開催日:5月25日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:教室の代表者・メンバー 計 10 人

(第2回)

開催日:8月18日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:教室の代表者・メンバー 計7人

(第3回)

開催日:2月22日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:教室の代表者・メンバー 計 12 人

〇地域日本語教室合同バスハイク(平尾台)

開催日:9月23日

参加者数:84人(バス2台)

(イ)門司区における地域日本語教室の開設

○日本語学習支援者向け準備講座

開催日:4月16日、4月23日、5月14日、5月21日

場 所:門司生涯学習センター大里分館

参加者数:28 人(実数)

〇日本語教室開設

開催日:毎週日曜日 13:00~15:00(開講日は6月4日)

場 所:門司麦酒煉瓦館2階

教室開設後、12月まで月1回程度の勉強会を実施し、理念や活動の振り返りを行った。

(ウ)「留学生弁論大会」及び「日本語おしゃべり発表会」の開催

外国人留学生や技能実習生等に日本語でスピーチする機会を提供することで日本語学習 欲の増進と地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進につながった。

○「留学生日本語弁論大会」

開催日:12月10日

場 所: 子どもの館 子どもホール

発表者数:9人(中国 4人、韓国 2人、インドネシア 2人、スリランカ 1人)

来場者数:35人

○日本語おしゃべり発表会

開催日:2月4日

場 所: 北九州芸術劇場 中劇場

発表者数:13人(インドネシア3人、ベトナム3人、フィリピン3人、インド1人、マレーシア

1人、台湾1人、ナイジェリア1人)

来場者数:142人

ウ 外国人受入企業の支援

市内 14 の企業・団体から相談を受け、そのうち 3 企業へ「日本語教育支援」を実施した。 令和 6 年 4 月から新たに 1 社、日本語教育支援の実施が決定している。また、外国人材を 雇用する企業向け相談会に出展した。

○「北九州国際交流協会の日本語教育支援」

主に外国人スタッフと日本人従業員のコミュニケーションを重視したプログラム。外国人スタッフ向けの 10 回の日本語教育プランに加え、日本人社員へのやさしい日本語を使ったコミュニケーション研修を実施した(外国人スタッフ向け日本語教育は日本語講師を派遣)。

①自動車整備工場

場所:小倉南区

期間:6月2日~9月29日(隔週1回×10日)

対象者:フィルピン人技能実習生4人

②製造業

場所:遠賀郡

期間:6月22日~8月24日(毎週1回×10日)

対象者:ベトナム人技能実習生3人

タイ人技術者3人

日本人社員 16 人(日本人社員向け研修、全 2 回)

③介護業

場所:若松区二島

期間:1月9日~3月12日(毎週1回×10日)

対象者:インドネシア人特定技能介護2人

日本人職員10人(日本人社員向け研修、1回)

○「企業向け外国人材雇用ワンストップ相談会」への出展

その他団体として出展し、参加団体等と情報交換、参加企業の相談対応を行った。

出展日:10月19日

場 所:西日本総合展示場

参加団体: 監理団体·登録支援機関等 14 社

エ 北九州市における地域日本語教室のあり方についての検討会議

外国人市民のうち特に就労・生活に関する日本語教育について関係団体と意見交換を行った。

①第1回

開催日: 7月1日(土) 14:00~16:00

場 所:八幡西生涯学習総合センター201 会議室

出席者数:14人(北九州ベトナム人協会、北九州ムスリム会、北九州市雇用政策課等)

②第2回

開催日: 3月2日(土) 14:00~16:00

場 所:八幡西生涯学習総合センター201 会議室

出席者数:14人(北九州ベトナム人協会、地域日本語教室代表者、企画調整局国際部国際政策課等)

オ 地域でのやさしい日本語普及啓発事業

「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解促進のために、「やさしい日本語」の 啓発を行った。

開催時期:10月~2月 開催回数:9回

対象者:196 人(区役所職員(門司・小倉南・八幡東・戸畑)、警察署員(小倉北・若松・八幡西)、小倉中央市民センター(市民)、教育委員会(ひまわり中学校関係者))

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 外国人人材の発掘・情報収集

外国人人材を発掘して文化紹介サポーターに登録してもらい、希望する高校に派遣した。

3月7日 常磐高等学校

3月13日 福岡県立北九州高等学校

(2)留学生支援

ア 地元企業への就職等促進

①市内進学者奨励金給付(留学生等支援資金の活用)

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関(専門学校、大学)に進学した留学生を対象に、申請のあった市内に住民登録を有する留学生全員(32人)に奨励金2万円を交付した。

②市内企業就職者奨励金(髙城外国人材活躍支援資金の活用)

北九州市内の大学や日本語学校及び専門学校を卒業し、市内に本社または事業所を有する企業に就職し、市内に住民登録を有する留学生(43人)に5万円を支給した。

イ 関原大連市留学生奨学金給付(関原北九州大連友好基金の活用)

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、北九州市立大学大学院、九州工業大学大学院、早稲田大学大学院に通う留学生(3人)に、月額2万円(年額24万円)を支給した。

ウ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した(北九州市立大学等計 11 回)。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1)人材バンク・協会ボランティア登録の推進

人材バンク登録者及びボランティアの新規登録を進めると共に当協会の事業やイベント等で 人材の活用を図った。

<人材バンク>

- ○翻訳サポーター(協会や市からの依頼により翻訳を行う):3人
- 〇日本語教育サポーター(日本語学習の指導を行う):4人
- 〇文化紹介サポーター(多文化共生や国際理解推進のための講演や研修を行う):37人
- ○外国語相談サポーター(協会窓口で相談対応や翻訳を行う):5人
- ○外国人住民応援サポーター(協会からの外国人に役立つ情報の発信を行う)5人
- <協会ボランティア(言語内訳は重複あり)>
 - ○行政通訳ボランティア:89 人 ※うち災害時通訳サポーターとして 72 人登録中国語 29 人、英語 19 人、ベトナム語 11 人、韓国語 7 人、インドネシア語 5 人、タガログ語 5 人、ネパール語 5 人、タイ語 4 人、ロシア語 3 人、モンゴル語 2 人、ウクライナ語 2 人、ドイツ語 1 人、ウルドゥー語 1 人
 - ○医療通訳ボランティア:40 人 中国語 22 人、英語 13 人、韓国語 5 人、ベトナム語1人
 - ○専門家相談通訳ボランティア:9人
 - ○交流ボランティアファミリー:58 家庭
 - 〇日本語教育ボランティア:39 人
- (2)外国人市民の防災支援(市の委託事業)
 - ア 外国人市民のための防災研修会

開催日:8月11日

場 所:北九州イスラム文化交流センター

参加者数:35 人(インドネシア 26 人、バングラディシュ 3 人、パキスタン 2 人、日本 2 人、シリア 1 人、トルコ 1 人)

講 師: 危機管理室危機管理課 坂本正明地域防災担当係長

内 容: 災害の備えや避難等についての講習会(英語通訳付きで実施)

イ 外国人支援者向け防災研修

開催日:2月8日10:30~12:00

場 所:八幡西区役所 509 会議室

参加者数:38人(北九州市関係部署職員、北九州市内警察署員、地域日本語教室代表、 下関市職員 協会職員等)

講 師:公益財団法人佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢冨 明徳氏

内 容: 災害時の外国人支援、災害多言語支援センターについての講義

- (3)民間団体との連携・協働の推進
 - ア 国際交流団体との連携
 - (ア)北九州国際交流団体ネットワーク(キーネット:加盟 59 団体)の事務局支援

総 会:5月20日(子どもの館 子どもホール)

役員会:6回開催

ワークショップ・研修会:2回開催

①テーマ:「生態系ってなに?」

開催日:5月20日

場 所:子どもの館 子どもホール

参加者数:25 人

②テーマ:「伝えたい人に伝わる広報&PR」

開催日:2月3日

場 所:八幡西区生涯学習総合センター 201 会議室

参加者数:13人

パネル展:10月4日~16日(ひとみらいプレイス) 参加団体数:16団体

(イ)民間団体の活動支援

〇多文化共生の地域づくりに取り組む団体に対して事業経費の一部助成

助成団体:1団体(学研都市留学生支援ネットワーク(フォースネット))

助成金額:100,000円

〇事業の共催、後援及び広報支援等 共催:5件 後援:10件

イ 国際理解教育の推進

(ア)国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際交流財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、保育施設・小・中・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。 派遣した市内の学校数及び講師数:9 校 16 人

(イ)協会職員等の講師派遣

小学校、高校、団体等に協会職員や協会ボランティアを講師として派遣し、自国の生活や文化等の紹介について講義を行った。

○協会職員や協会ボランティア(派遣回数 5回)

9月28日 筒井小学校「韓国の生活や文化について」

10月24日 高蔵小学校「調べてみよう、世界の国(国際理解)」

10月31日 横代小学校「総合的な学習の時間「深めよう世界の国」

2月1日 長尾市民センター「生涯学習市民講座(一般)」

2月15日 北九州市教育委員会くろさき教育支援室「集団・体験活動「国際交流」

〇協会職員(外国人支援主任(多文化ソーシャルワーカー)) (派遣回数 10 回)

4月13日 かめのり財団「日本における外国人と福祉のこれまでとこれから連続セミナー第1回『多文化共生時代の地域福祉・福祉制度の現状と課題』」

4月26日 福岡県弁護士会北九州部会国際委員会「外国人法律相談登録研修」

5月26日 自治体国際化協会「第1回PA研修『PAとしての立場から考える多文

化共生~文化の違いによる「誤解」を「2つの理解」ととらえてみる~』

7月20日 自治体国際化協会「第1回体験塾『外国人住民とつながる地域社会

~技能実習生の支援を例に』~ |

8月3日 全国市町村国際文化研修所「外国人相談窓口の運営『外国人相談

の実際~多文化ソーシャルワークの視点から~』」

9月13日	西南女学院大学「グローバル社会と地域母子保健」				
10月~11月	八幡地区高等学校県立学校人権·同和教育推進連絡協議会「外国				
	につながる生徒の教育支援」(オンデマンド)				
11月15日	福岡県小倉北警察署「小倉北国際化対策研修会」				
12月11日	自治体国際化協会「多文化共生の担い手連携促進研修会第2部『外				
	国人支援をコーディネートするために~つくる連携・生まれる連携~』				
	基調講演、パネルディスカッション、グループワーク」				
2月21日	福岡県行政書士会シンポジウム「多文化共生ってなんだろう?第3部				
	トークディスカッション」				
〇協会職員(日本語	コーディネーター・総括コーディネーター)(派遣回数 11 回)				
9月30日	小林市地域日本語教育サポーター講座				
	「ANADO〜あなたならどうする?」				
10月1日	宮崎県日本語学習支援者フォローアップ講座				
	『教室あるある!ANADO〜あなたならどうする?〜』を通して考えてみ				
	よう」				
10月18日	小倉北警察署「外国人に伝わりやすいやさしい日本語研修」(再掲)				
11月2日	若松警察署 「外国人に伝わりやすいやさしい日本語研修」(再掲)				
11月21日	戸畑区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」(再掲)				
12月5日	小倉南区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」(再掲)				
12月13日	八幡東区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」(再掲)				
1月17日	宮崎県日本語学習支援者フォローアップ講座 オンライン				
	『教室あるある!ANADO~あなたならどうする?~』を通して考えてみ				
	よう」				
1月25日	八幡西警察署 「外国人に伝わりやすいやさしい日本語研修」(再掲)				
2月2日	北九州市教育委員会「やさしい日本語研修」 (再掲)				
2月14日	門司区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」(再掲)				
○協会職員(防災担	当)				

9月26日 全国市町村国際文化研修所「災害時における外国人への支援セミナー」 「北九州市災害多言語支援センター設置運営訓練までの軌跡」

ウ 多文化共生の地域づくり

学習会や交流会、交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の地域づくりを推進した。

(ア)英語で語る自分の国

回数:5回 参加者数:150人 場所:北九州国際交流協会

7月15日	香港	32 人
10月07日	メキシコ	31人
11月18日	アメリカ	29 人
1月20日	ベトナム	27 人
3月2日	グアテマラ	31 人

(イ)多文化共生啓発

外国人市民と日本人が相互理解を深める交流会を開催した。

Oレッツ トーク!☆

回数:2回 参加者数:114人 場所:八幡西生涯学習総合センター大会議室

8月5日 55人(内15人外国人)

2月17日 59人(内30人外国人)

〇留学生と日本人の交流会

回数:2回 参加者数:78人

場所:北九州国際交流協会、八幡西生涯学習総合センター

6月3日 留学生7人、交流ボランティアファミリー7家族21人

12月16日 留学生15人、交流ボランティアファミリー6家族15人、一般20人(国際 交流クリスマスパーティーとして実施)

- (ウ) 多文化共生交流事業(市の委託事業)
- ○外国人市民への図書館ガイドツアー

開催日:10月29日(日)

場所:北九州市立中央図書館

参加者数:32人(うち外国人26人)

○地域でのやさしい日本語普及啓発事業(再掲)

警察署職員を対象とした「やさしい日本語研修」を実施した。

①開催日:10月18日

場 所:小倉北警察署

参加者数:15人

②開催日:11月2日場所:若松警察署

参加者数:50人

- 〇外国人市民と地域住民の交流事業
 - ①「やさしい日本語」講座&ワークショップ

開催日:11月11日

場 所:小倉中央市民センター第3集会室

参加者数:13人(内、ワークショップのみ10人外国人)

②ネパール・ベトナム文化講座

開催日:11月18日

場 所:小倉中央市民センター第3集会室

参加者数:21人(内2人外国人)

③台湾文化展示会

開催日:1月15日~1月26日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:約216人(自由観覧)

④ 台湾文化交流会 第1部

開催日:1月21日

場所:北九州国際交流協会

参加者数:45 人 ④-1 講演

> 庄野庸雄氏(西日本台湾学友会会長・しょうの歯科医院院長)を講師に迎え、 「台湾文化について」をテーマに講演を実施した。

④-2 ワールドカフェ式対話交流

王伊均氏(北九州市立大学4年生)、邱若婷氏(早稲田大学大学院修生)、 蔡雨霊氏(早稲田大学大学院修了生)、原田和昭氏(北九州台湾同郷便宜会会 長)を迎え、「現代台湾のポップカルチャー」をテーマに情報共有を行った。

⑤ 台湾文化交流会 第2部

水引ワークショップ講師の西村佳代氏を招き、台湾風の春節飾りを水引で作成。多文化の体験活動を行った。

開催日:1月21日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:15人

- (エ)グローバル人材育成事業(市の委託事業)
 - ○レッツ トーク!☆(再掲)

開催回数:2回 参加者数:114人

場所:八幡西生涯学習総合センター大会議室

8月 5日 55人(内15人外国人)

2月17日 59人(内30人外国人)

〇キーネットパネル展

開催期間:10月4日~16日(ひとみらいプレイス)

参加団体数:16 団体

○2023KIA 国際交流まつり

北九州市に住んでいる外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりにつながるバザーや発表、民族衣装体験、図書バザー等を行った。

開催日:10月14日、15日

場 所:北九州国際交流協会

出品国:7カ国 7ブース

来場者数:約350人

○国際交流クリスマスパーティー(再掲)

外国人や外国文化を身近なものとしてとらえ、相互理解のきっかけとなるような交流イベントを開催した。

開催日:12月16日

場 所:八幡西生涯学習総合センター

参加者数:50人(内21人外国人)

(オ)多文化共生の担い手育成

〇コミュニティ通訳者フォローアップ研修(協会事業を支える人材育成)

開催日:2月5日 場 所:八幡西生涯学習センター大会議室

講 師:立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員 飯田奈美子氏

参加者数:20人

- 〇インターンシップ受入れ
 - ① 夏季研修(北九州市からの依頼と協会への直接依頼)

実習生: 北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科 3 年生 1 人 北九州市立大学外国語学部英米学科 3 年生 1 人

熊本大学理学部理学科地球環境科学コース3年生1人

熊本学園大学商学部商学科 3 年生 1 人 計 4 人

実習期間:8月31日~9月2日 3日間

実習内容:協会事業の学習、日本語教室のアシスタント体験(オンライン)、外国語相談員との意見交換、イベント企画発表等

② 春季研修(協会への直接依頼)

実習生: 北九州市立大学外国語学部英米学科 2 年生 1 人

北九州市立大学外国語学部国際関係学科2年生1人·3年生1人 計 3人 実習期間:2月29日~3月2日 3日間

実習内容:協会事業の学習、日本語教室体験(オンライン)、外国語相談員との意見交換、外国人市民へのインタビュー体験等

○地域日本語教育研修教材「ANADO」の改訂

平成25年度に作成した「ANADO~あなたならどうする?~」は、地域日本語教育の現場の課題事例をカードにまとめ、課題解決を関係者と一緒に体験することを目的とした教材である。令和2年度に改訂版を作成し、令和3年度から全国に貸し出しているが、令和5年度に解説書の改訂及び新規カードを作成した。

《 協会の広報活動 》

〇ホームページ等による広報(再掲)

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したリニューアル後のホームページから、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

- 〇北九州市市政だよりに、協会事業やイベント情報を掲載(41 件+特集記事 9 月15日号)
- 〇北九州商工会議所が発行する会報誌「北商ニュース 2023 年 9 月号」に協会事業等を広報
- 〇メールマガジンによる情報提供(月2回)

協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信(メールマガジン登録者数:559人)

- 〇日本語教室やワンストップインフォメーション PR パンフレットの作成・配布(多言語対応)
- ○「ボランティアウィーク 2022(社会福祉協議会)」での協会事業の紹介(スライド映像)

出展日:10月15日~21日 場所:ウェルとばた

○「多文化共生わいわい祭り(北九州YMCAとの共催)」への出展

出展日:11 月 23 日 場 所:北九州YMCA

出展内容:世界の民族衣装体験 民族衣装体験ブースの来場者数:213 人

来場者数:213人

令和5(2023)年度事業報告の附属明細書

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

なし

令和5(2023)年度

決 算 報 告 書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和5(2023)年度 貸借対照表

令和6(2024)年3月31日現在

科目	当年度	前年度	(単位:円) 増減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,344,569	7,688,250	4,656,319
未収金	779,900	1,563,200	△ 783,300
前払費用	18,500	19,000	△ 500
流動資産合計	13,142,969	9,270,450	3,872,519
2. 固定資産	, ,	, ,	, ,
(1) 基本財産			
投資有価証券	292,895,900	299,947,800	△ 7,051,900
定期預金	0	200	
普通預金	0	52,000	△ 52,000
基本財産合計	292,895,900	300,000,000	△ 7,104,100
(2) 特定資産	, ,	, ,	_ , ,
留学生等支援資金積立資産	36,128,799	36,608,799	△ 480,000
外国人材活躍支援資金積立資産	15,025,661	13,049,255	1,976,406
特定資産合計	51,154,460	49,658,054	1,496,406
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
 	514,090	1,039,599	△ 525,509
その他固定資産合計	514,091	1,039,600	△ 525,509
固定資産合計	344,564,451	350,697,654	△ 6,133,203
資産合計	357,707,420	359,968,104	△ 2,260,684
Ⅲ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,701,872	1,897,767	1,804,105
預り金	528,004	564,011	△ 36,007
流動負債合計	4,229,876	2,461,778	1,768,098
負債合計	4,229,876	2,461,778	1,768,098
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	151,154,460	149,658,054	1,496,406
指定正味財産合計	151,154,460	149,658,054	1,496,406
(うち基本財産への充当額)	(100,269,000)	(100,000,000)	(269,000)
(うち特定資産への充当額)	(51,154,460)	(49,658,054)	(1,496,406)
2. 一般正味財産	202,323,084	207,848,272	△ 5,525,188
(うち基本財産への充当額)	(192,626,900)	(200,000,000)	△ 7,373,100)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	353,477,544	357,506,326	△ 4,028,782
負債及び正味財産合計	357,707,420	359,968,104	△ 2,260,684

令和5(2023)年度 正味財産増減計算書

令和5(2023)年4月1日から令和6(2024)年3月31日まで

・・・	科目	当年度	前年度	(単位:円) 増 減
	I 一般正味財産増減の部	当 平 及	刊 平 及	垣 仮
表計解伝が到過。	(1) 経常収益			
# 177 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
응用: ***	特定資産運用益	[617]	[1,113]	[△ 496]
事業投資・	受取会費	[685,000]	[555,000]	[130,000]
#日日人市区の特定を変き作事のでは、				
	外国人市民の防災支援受託事業収益	493,000	456,000	37,000
	人材育成受託事業収益			△ 330
今日人 1 大田 1 大	多文化共生事例調査業務事業収益 台湾文化交流会事業収益	_		
今99(1) ○ 59,000 ○ 99,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 90,000 ○ 11,18,000 ○ 17,18,000 ○ 17,18,000 ○ 17,18,000 ○ 17,18,000 ○ 17,18,000 ○ 17,18,000 ○ 18,000 ○ 90,000	外国人市民と地域住民の交流事業収益	697,455	399,960	297,495
受配とは何で相応を				△ 99,000
受託 中			-	
중한하다	受取北九州市補助金	60,362,000	61,118,000	△ 756,000
受いませんを検討を			10,000,000	
安定者性多性解析			[5,067,754]	
受刑名	受取寄付金振替額	3,663,594	5,023,754	△ 1,360,160
各の収益計				- / -
20 品産費用				
安神時後 歌神中語 歌神中語 歌神神 神理 神理 神理 神理 神理 神理 神理 神理 神理	(2) 経常費用		, ,	, ,
辞料手語				
語画学生養 8,852,522 8,433,397 △ 380,875	給料手当	33,330,111	34,942,772	$\triangle 1,612,661$
要子金 720,000 966,000 公240,000 1,769,764 人」0,29,764 人」0,29,744 人」0,29,29 人」1,29,29 人」2,284,514 人」1,29,29 人」2,284,514 人」1,29,29 人」2,284,514 人」1,29,29 人」2,284,514 人」1,29,29 人」2,284,214 人」1,29,29 人」2,284,214 人」1,29,29 人工2,284,214 人」1,29,29 人工2,284,214 人」1,29,29 人工2,284,214 人」1,29,29 人工2,284,214 人」2,284,214	福利厚生費	8,052,522	8,433,397	△ 380,875
研学とき交換助金	奨学金			
解象と対象				
議価値算管	旅費交通費	1,963,234	1,460,870	502,364
消耗化費組出費 991.00 1.062,682 △ 1,062,682				
車両費	消耗什器備品費	0	1,062,682	△ 1,062,682
田副製本費	車両費	215,105	81,920	133,185
光熱木料費 2,165,895 2,284,514 △118,619 リース棒 303,340 845,835 △41,955 使用料質律料 3,785,969 4,235,625 △49,656 交票費 1,500 0 1,500 炭素保険料 76,106 76,957 △48,868 租稅公果 4,000 4,000 0 0 支上負担金 2,20,777 2,20,000 9,72,777 皮雷費 171,475 188,325 △13,450 金糧費 44,080 72,273 △27,933 企業費 4,408 72,473 △27,933 企業費 14,408 72,473 △27,933 企業費 2,613,558 2,237,710 2,263,483 226,483 役員報酬 300,205 389,735 △92,530 結科手当 234,253 226,683 7,390 通信經費 12,482 65,797 60,685 通信經費 12,482 65,797 60,685 通信経費 11,800 56,944 △37,184 中制販売本費 11,800 56,944 △37,184 中無機費 12,395 12,238 1 資産業費 10,000 10,000 △0,000 △0,000 大路機費 10,000 10,000 △0,000 △0,000				
使用料質性料 3,785,969 4,235,625 △ 449,656 交際費 1,500 0 0 1,500 以著保険料 76,106 76,957 △ 851	光熱水料費		2,284,514	△ 118,619
	使用料賃借料	3,785,969	4,235,625	△ 449,656
報信費 3,389,280 3,797,960 △408,680 14,000 2,00 支払負担金 250,000 250,000 0 0 0 0 0 5社債担金 250,000 250,000 0 0 0 0 5社債担金 250,000 250,000 0 0 0 0 5社債担金 250,000 250,000 0 0 0 0 97,277 [図書費 1,741,375 188,325 △ 13,950 6 24 8	文際費 災害保険料	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· ·	
支託費 250,000 250,000 9,7277 民業費 174,475 188,325 △13,950 食糧費 44,080 72,073 △27,993 雑費 621,400 564,995 56,405 管理費 (2,613,585) (2,387,120) (2,56,438) 後負報酬 306,005 398,735 △92,530 縮利厚生費 126,482 65,797 60,685 通信課股費 30,936 23,004 7,992 減額情期學生費 12,239 11,238 1 消耗品費 19,800 56,944 △37,184 月期聚本費 19,800 56,944 △37,184 月期聚本費 19,800 56,944 △37,184 光熱計量 19,800 56,944 △37,184 分類 113,994 120,237 △6,243 少一本料 42,312 44,517 △2,205 交際費 10,000 1,230 △1,230 交流費 20,000 15,000 335,500 交路費 92,500 59,400 335,500<	報償費			△ 408,680
図書費	支払負担金	250,000	250,000	0
養職費 (21,400 564,995 56,4095 56,4095 694,995 70,400 70,4	図書費			
世界				
総料手当 福利厚生費 126.482 65.797 60.685 通信運搬費 30.936 23.004 7,932 減価値対費 12.239 12.238 1 消耗品費 52.163 95.947 △ 43.784 印刷製本費 19.800 56.984 △ 37.184 北熱水料費 113.994 120.237 △ 6.243 メース料 42.312 44.517 △ 2.205 使用料賃借料 581.143 529.996 57.447 会議費 0 1,230 △ 1,230 東佐貴皇 100.000 100.000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	管理費	[2,613,558]	[2,357,120]	[256,438]
通信運搬費 30,936 23,004 7,932 12,238 1				
減価情却費				
19,800 56,984 △ 37,184 19,2027 △ 6,243 上のス料 113,994 120,237 △ 6,243 上のス料 42,312 44,517 △ 2,205 使用料質情料 581,143 523,996 57,147 △ 2,205 大払負担金 100,000 100,000 0 0 0 0 0 0 0 0	減価償却費	12,239	12,238	1
	印刷製本費	19,800	56,984	△ 37,184
使用料質情料 会議費	光熱水料費 リース料			\triangle 6,243
支払負担金 報償費 929,500 15,000 △15,000 委託費 929,500 594,000 335,500 交際費 5,645 11,186 △5,541 雑費 58,886 67,386 △8,500 経常費用計 77,901,428 82,699,192 △4,797,764 基本財産評価損益等 △6,979,144 ○ 13,353,644 13,353,644 投資有価証券評価損益等 △6,979,144 △13,353,644 13,353,644 13,353,644 投資有価証券評価損益等 △6,979,144 △13,353,644 13,353,644 13,353,644 ○ 2,6279,144 △13,353,644 13,353,644 13,353,644 ○ 3,745,500 当期経常增減額 △5,565,188 △13,431,336 7,866,148 ②取寄付金版替額 [40,000	使用料賃借料	581,143	523,996	57,147
委託費 929,500 594,000 335,500 交際費 5,645 11,186 △ 5,541	支払負担金	100,000	100,000	0
交際費	報償費	_		
経常費用計 評価損益等調整前当期経常増減額	交際費	5,645	11,186	△ 5,541
基本財産評価損益等	経常費用計	77,901,428	82,699,192	$\triangle 4,797,764$
投資有価証券評価損益等計				
当期経常増減額	投資有価証券評価損益等	0	△ 13,353,644	13,353,644
(1) 経常外収益 受取寄付金振替額	当期経常増減額			
受取寄付金 [40,000] [40,000] [0] 受取寄付金振替額 40,000 40,000 0 0 経常外収益計 40,000 40,000 0 0 (2) 経常外費用 0 0 0 0 0 経常外費用計 0 0 0 0 0 当期経常外増減額 40,000 40,000 0 0 当期一般正味財産増減額 △ 5,525,188 △ 13,391,336 ○ 7,866,148 → 13,391,336 → 1				
A0,000 A0,000 O	受取寄付金	7 -		
経常外費用計	経常外収益計			
当期経常外増減額 40,000 40,000 0 当期一般正味財産増減額 △5,525,188 △13,391,336 7,866,148 一般正味財産期産残高 207,848,272 221,239,608 △13,391,336 一般正味財産期末残高 202,323,084 207,848,272 △5,525,188 II 指定正味財産増減の部 5,200,000] [5,000,000] [200,000] [200,000] [200,000] [200,000] [3,703,594] [3,603,754] [1,360,160] [3,703,594] [3,703,594] [3,703,7594] [3,603,754] [3,603,160] [3,703,7594		0	0	0
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 II 指定正味財産増減の部 受取名付金 受取民間寄付金 一般正味財産への振替額 一般正味財産への振替額 当期指定正味財産増減額 当期指定正味財産増減額 当期指定正味財産増減額 指定正味財産増減額 1,496,406 指定正味財産期末残高	当期経常外増減額	40,000	40,000	0
II 指定正味財産増減の部 受取寄付金	一般正味財産期首残高	207,848,272	221,239,608	△ 13,391,336
受取客付金 「 5,200,000] [5,000,000] [200,00		202,323,084	207,848,272	△ 5,525,188
一般正味財産への振替額 一般正味財産への振替額 当期指定正味財産増減額 [受取寄付金			
当期指定正味財産増減額	一般正味財産への振替額	[$\triangle 3,703,594$]	[$\triangle 5,063,754$]	[1,360,160]
指定正味財産期首残高				
	指定正味財産期首残高	149,658,054	149,721,808	△ 63,754
	指定止味財産期末残局 Ⅲ 正味財産期末残高			

<u> 令和5(2023)年度</u> 正味財産増減計算書内訳表 令和5(2023)年 4月 1日から令和6(2024)年 3月31日まで

財団法人北九州国際交流協会		公益目的	事業会計		Т		(単位:
科目	多文化共生推進事業	関原基金事業	共通	小計	法人会計	内部取引消去	合計
一般正味財産増減の部 . 経常増減の部							
(1) 経常収益 基本財産運用益		077.044	1 000 000	0.000.044	100.000		0.000.0
基本財産受取利息 基本財産運用益計	0	877,244 877,244	1,330,800 1,330,800	2,208,044 2,208,044	100,200 100,200	0	2,308,2 2,308,2
特定資産運用益 特定資産受取利息	617	0	0	617	0	0	6
特定資産運用益計 受取会費	617	0	0	617	0	0	6
賛助会員受取会費 受取会費計	0	0	685,000 685,000	685,000 685,000	0	0	685,0 685,0
事業収益 外国人市民の防災支援受託事業収益	493,000	0	0	493,000	0	0	493,0
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益 人材育成受託事業収益	997,700 349,470	0	0	997,700 349,470	0	0	997,7 349,4
台湾文化交流会事業収益 外国人市民と地域住民の交流事業収益	99,946 697,455	0	0 0	99,946 697,455	0	0	99,9 697,4
外国人市民のための図書館ガイドツアー事業収益 外国人受入企業の支援事業収益	99,792 169,660	0 0	0	99,792 169,660	0	0	99,7 169,6
事業収益計 受取補助金等	2,907,023	0	0	2,907,023	0	0	2,907,0
受取北九州市補助金 受取国庫助成金	57,848,642 8,600,000	0	0	57,848,642 8,600,000	2,513,358 0	0	60,362,0 8,600,0
受取助成金 受取補助金等計	147,980 66,596,622	0	0	147,980 66,596,622	2,513,358	0	147,9 69,109,9
受取寄付金 受取寄付金	0	0	40,000	40,000	0	0	40,0
受取寄付金振替額 受取寄付金計	3,663,594 3,663,594	0	40,000	3,663,594 3,703,594	0	0	3,663,5 3,703,5
雑収益 受取利息	7	4	0	11	0	0	
その他雑収益 雑収益計	600,915 600,922	0 4	0	600,915 600,926	0	0	600,9 600,9
経常収益計 (2)経常費用	73,768,778	877,248	2,055,800	76,701,826	2,613,558	0	79,315,3
事業費 役員報酬	6,154,895	0	0	6,154,895	0	0	6,154,8
給料手当 臨時雇賃金	33,160,353 3,238,490	169,758 0	0	33,330,111 3,238,490	0	0	33,330,1 3,238,4
福利厚生費 奨学金	8,026,316	26,206 720,000	0	8,052,522 720,000	0	0	8,052,5 720,0
留学生等支援助成金 外国人人材活躍支援助成金	740,000 2,730,000	0	0	740,000 2,730,000	0	0	740,0 2,730,0
旅費交通費 通信運搬費	1,963,234 2,002,661	0	0	1,963,234 2,002,661	0	0	1,963, 2,002,
減価償却費 消耗品費	513,270 991,100	0	0	513,270 991,100	0	0	513, 991.
車両費 修繕費	215,105 44,000	0	0	215,105 44,000	0	0	215, 44,
印刷製本費 光熱水料費	894,560 2,165,895	0	0	894,560 2,165,895	0	0	894,! 2,165,8
リース料 使用料賃借料	803,940 3,785,969	0	0	803,940 3,785,969	0	0	803,9 3,785,9
交際費 災害保険料	1,500 76,106	0	0	1,500 76,106	0	Ö	1,5 76,1
スロ体後47 報償費 租税公課	3,389,280 4,000	0	0	3,389,280 4,000	0	Ö	3,389,2 4,0
支払負担金委託費	250,000 2,381,377	0	0	250,000 2,381,377	0	0	250,0 2,381,3
安印典 図書費 食糧費	174,375 44,080	0	0	174,375 44,080	0	0	2,361, 174, 44,
雑費	621,400 74,371,906	915,964	0	621,400 75,287,870	0	0	621,
事業費計管理學和理	74,371,906	915,964]	0[75,287,870	306,205	0	75,287,
役員報酬 給料手当 5月15日 生物					234,253 126,482	0	306,; 234,; 126,
福利厚生費 通信運搬費					30,936	0	30,
減価償却費 消耗品費					12,239 52,163	0	12, 52,
印刷製本費 光熱水料費					19,800 113,994	0	19, 113,
リース料 使用料賃借料					42,312 581,143	0	42 581
支払負担金 委託費					100,000 929,500	0	100 929
交際費 雑費					5,645 58,886	0	5 ₅
管理費計 経常費用計	74,371,906	915,964	0	75,287,870	2,613,558 2,613,558	0	2,613, 77,901,
評価損益等調整前当期経常增減額 <u>基本</u> 財産評価損益等	△ 603,128 △ 3,953,900	△ 38,716 △ 3,025,244	2,055,800	1,413,956 △ 6,979,144	0	0	1,413, △ 6,979,
評価損益等計 当期経常増減額	△ 3,953,900 △ 4,557,028	△ 3,025,244 △ 3,063,960	2,055,800	△ 6,979,144 △ 5,565,188	0	0	△ 6,979 △ 5,565
?. 経常外増減の部 (1)経常外収益		_					
受取寄付金 受取寄付金振替額	40,000 40,000	0	0	40,000 40,000	0	0	40, 40,
経常外収益計 (2)経常外費用	40,000	0	0	40,000	0	Ö	40,
経常外費用計 当期経常外増減額	40,000	0	0	0 40,000	0	0	40,
当期一般正味財產增減額 一般正味財產期首残高 一般正味財產期首残高	△ 4,517,028 —	△ 3,063,960 —	2,055,800 —	△ 5,525,188 —	_ 0	0	△ 5,525 207,848
が正味財産期末残高 一般正味財産期末残高 指定正味財産増減の部	_	-	_	-	-	_	202,323,
受取寄付金 受取民間寄付金	5,200,000	0	0	5,200,000	0	0	5,200,
一般正味財産への振替額	3,703,594	0	0	3,703,594	0	0	3,703,
		0	0	1,496,406	0	0	1,496,
一般正味財産への振替額 当期指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高	1,496,406			- 1,430,400		_	149,658,0

令和5(2023)年度附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載するため、内容の記載を省略する。

2 引当金の明細

該当なし。

財産目録

令和6 (2024) 年3月31日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

	f借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	122,832
	預金	普通預金	運転資金として	
		福岡銀行八幡支店		3,484,76
		西日本シティ銀行八幡支店		481,86
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		8,187,470
		北九州銀行八幡支店		44,200
		佐賀銀行八幡支店		6,78
		福岡中央銀行黒崎支店		6,78
		郵公振替貯金		9,87
	未収金	北九州市	事業に供する未収分	779,900
	前払金	ボランティア活動保険	令和6年度分	18,500
流動資産合計	•			13,142,969
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	神奈川県第 31 回 20 年公募公債	定款で定めた基本財産であり、運用益を公益目的事業及び	100,125,900
			管理運用に充てるための資産である。	
			公益目的保有財産 90% 90,113,310 円	
			収益事業・管理活動財産 10% 10,012,590 円	
		第 152 回利付国債	定款で定めた基本財産であり、公益目的保有財産として運	51,964,000
		福岡市平成 28 年度第 6 回公募公債	用益を公益目的事業に充てることとしている。	92,501,000
		第 160 回利付国債		48,305,000
特定資産	留学生等支援資金	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた使途(留	
	積立資産	福岡ひびき信用金庫本店営業部	学生に対する支援) を目的に積み立てている資産である。	7,500,000
		佐賀銀行八幡支店		9,500,000
		福岡中央銀行黒崎支店		9,500,000
		北九州銀行八幡支店		9,000,000
		普通預金		
		福岡銀行八幡支店		468,799
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		160,000
	外国人材活躍支援	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた使途(外	
	資金積立資産	福岡銀行黒崎支店	国人に対する支援) を目的に積み立てている資産である。	10,000,000
		普通預金		
		福岡銀行黒崎支店		4,983,473
		貯蔵品 クオカード在庫数 45 枚		42,188
その他固定	車両運搬具	スバル軽自動車 1台	公益目的保有財産である。	1
資産	什器備品	ノートパソコン 6 台他	公益目的保有財産 495,794 円	514,090
			管理活動財産 18,296 円	
固定資産合計				344,564,451
資産合計				357,707,420
(流動負債)	未払金	北九州市他	事業に供する経費未払分	3,701,872
	預り金	社会保険料他2件	令和5年度分	528,004
流動負債合計				4,229,876
負債合計				4,229,876
正味財産	· 合計			353,477,544

令和5(2023)年度 財務諸表に対する注記

この財務諸表は、公益法人会計基準(平成 20 年 4 月 11 日 令和 2 年 5 月 15 日改正 内閣府公益認定等委員会)及び同運用指針(平成 20 年 4 月 11 日 平成 30 年 6 月 15 日改正内閣府公益認定等委員会)並びに同実務指針(平成 28 年 3 月 22 日 平成 28 年 12 月 22日改正日本公認会計士協会)に準拠して作成している。なお、会計区分は移行認定に係る行政庁からの決定処分にもとづいている。

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券のうち時価のあるものについては、期末日の市場価格等にもとづく時価 法(売却原価は移動平均法により算定)により行っている。なお、その他有価証券に係る 評価損益は、当年度における損益として処理している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	299,947,800	0	7,051,900	292,895,900
定期預金	200	0	200	0
普通預金	52,000	0	52,000	0
小計	300,000,000	0	7,104,100	292,895,900
特定資産				
※ 1	36,608,799	200,000	680,000	36,128,799
※ 2	13,049,255	5,000,000	3,023,594	15,025,661
小計	49,658,054	5,200,000	3,703,594	51,154,460
合計	349,658,054	5,200,000	10,807,694	344,050,360

^{※1} 留学生等支援資金積立資産

^{※2} 外国人材活躍支援資金積立資産

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	火 扣 十 珍 卓	(うち指定正味財	(うち一般正味財	(うち負債に対
↑↑ 目 	当期末残高	産からの充当額)	産からの充当額)	応する額)
基本財産				
投資有価証券	292,895,900	(100,269,000)	(192,626,900)	_
小計	292,895,900	(100,269,000)	(192,626,900)	_
特定資産				
※ 1	36,128,799	(36,128,799)	(0)	(0)
※ 2	15,025,661	(15,025,661)	(0)	(0)
小計	51,154,460	(51,154,460)	(0)	(0)
合計	344,050,360	(151,423,460)	(192,626,900)	(0)

※1 同上

※2 同上

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	
その他固定資産				
車両運搬具	977,855	977,854	1	
什器備品	3,446,464	2,932,374	514,090	
合計	4,424,319	3,910,228	514,091	

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業補助金	北九州市	0	60,362,000	60,362,000	0
※ 1	※ 1	0	8,600,000	8,600,000	0
※ 2	※ 2	0	147,980	147,980	0
合言	+	0	69,109,980	69,109,980	0

※1 自治体国際化協会補助金

文化庁

※2 地域国際化協会連絡協議会研修助成金

地域国際化協会連絡協議会

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業実施による指定解除額	3,663,594
経常外収益への振替額	
事業実施による指定解除額	40,000
合計	3,703,594

7 その他(基本財産の貸借対照表価額)

当会はこれまで、定款第 5 条にもとづいて別表に定める 3 億円を基本財産の貸借対照表価額として計上してきた。当会の基本財産は、信用力の高い団体が発行する債券(以下「当会債券」という。)をもって運用する方針であるところ、他方で、その他有価証券に分類される当会債券は期末時点における時価に評価換算した上で、貸借対照表に計上する会計処理を実施している。

ここで、昨今の株高等の影響に伴う債券価格の著しい下落に伴い、前年度では当会債券の 時価評価額の総額が 3 億円を若干ながら下回ったことから、これを補填すべく預金残高の 一部を充当し、従前からの方針を堅持したところである。

しかしながら、当年度にあっては、当会債券の期末時価評価額の総額が 3 億円を大きく下回る結果となり、これを前年度と同様に預金の一部をもって補填するとならば、通常の営業資金の不足を招来する可能性が大であること、及び、次年度以降においても引き続き債券価格がより一層下落するときは、もはや当会の預金残高では補填することが困難な程度に

まで至ることも懸念される。

したがって、基本財産の貸借対照表価額は、従前の 3 億円との記載から当会債券の額面金額 3 億円を維持しつつ、期末時価評価額を貸借対照表価額として記載することと改めた。なお、当会債券の時価評価に伴う基本財産の減少額は、会計上の認識に留まるものであり、一般社団財団法人法第 172 条第 2 項において定める基本財産の処分には該当しないものである。